



YouTube

日本競輪選手養成所　WEBサイト
https://keirin-jik.jp/

日本競輪選手養成所
〒410-2402　静岡県伊豆市大野1827

競輪とオートレースの売上の一部は、機械工業の振興や社会福祉等に役立てられています。

日本競輪選手養成所

Japan Institute of KEIRIN

Japan Institute of KEIRIN

KEIRIN

高い理念と確かな指導で
世界でも通用するプロ競輪選手を育成。

日本競輪選手養成所は豊かな自然と森に囲まれた伊豆半島の中央に位置し、最新の設備と練習環境を有する、日本で唯一の競輪選手養成機関です。克己・誠実・親和を基本方針として、心身ともに健やかなプロフェッショナルアスリートに必要な技能・知識を身に付け、立派な社会人として必要な人格と良識を養成しています。ここで行われる約1年間の養成は、学科・実科・特別養成活動の3本柱により構成され、常に最新の理論を取り入れて、効果的な養成を目指しています。

在籍中は厳しい訓練と規則正しい生活を通じて、競輪選手として必要な基礎を身に着けるとともに、一人前の社会人に相応しい人格を磨きます。

日本競輪選手養成所の歴史

昭和25年	9月	東京都北多摩郡調布町（現調布市）に日本サイクリストセンターとして開設
	9月	男女既登録選手の再訓練を開始
昭和26年	8月	選手の養成教育を開始
		第1回候補生135名入所
昭和30年	4月	日本競輪学校と改称。校旗を制定
昭和43年	7月	静岡県田方郡修善寺町字大野（桑木崖峨）1827に移転開校
	7月	養成期間8ヶ月とする
昭和44年	11月	高松宮・同妃殿下来校
昭和46年	4月	養成期間10ヶ月へ
	10月	上・下級生同時養成を開始
昭和48年	4月	養成期間12ヶ月へ
昭和51年	4月	適性試験合格者の入所開始
昭和58年	5月	養成期間技能10ヶ月、適性12ヶ月へ
平成3年	12月	生徒宿舎竣工
平成11年	8月	特別選抜入学試験を採用
平成12年	5月	上・下級生同時養成を中止
平成14年	12月	校舎棟耐震補強工事竣工
平成22年	4月	第23代校長に瀧澤正光就任
平成23年	5月	女子第1回生候補生（第102回生）35名入学
令和元年	5月	日本競輪選手養成所と改称
令和元年	7月	JKA250（屋内型木製ピスト）竣工
令和元年	12月	117回生（男子）2名が史上初の早期卒業
令和3年	12月	121回生（男子）2名が早期卒業

ご挨拶

日本競輪選手養成所は、1950年に日本サイクリストセンターとして開設しました。その後、70年あまりの歴史を経て、数々の名選手を生みだしています。当然、現役選手だった私も日本競輪選手養成所で育てられたひとり。みなさんの先輩にあたります。ここで競輪の先輩として、人生の先輩として、私がみなさんに伝えたいのは、たったひとつのことです。

それは「努力」を惜しまないということ。当たり前のことのように聞こえるかもしれませんが、プロアスリートとして、これが最も大切なことだと私は信じています。努力なくして成功した選手を私は知りません。競輪はペダルをこぐという単純なものだから、流した汗の多い人が勝つ。そう信じて、努力を続ける。練習して、強くなる。それが競輪という競技の真理です。だから自転車の経験がなくても、すべてはこれからの努力次第。競輪は意欲あるスポーツ選手達をいつでもお待ちしています。

日本競輪選手養成所 所長
瀧澤正光





広大な敷地に充実した施設の数々。
選手になる上で能力を最大限高めることができる万全の環境。

標高300mほどの緑に囲まれた丘陵地には、選手養成に最善な設備が整っています。

選手候補生専用のピスト、周回サーキットコース、水平走路、体育館、能力測定室、自転車整備室等に加え、隣接するサイクルスポーツセンターの施設も活用して、万全な体制で未来の競輪選手を養成します。

また2019年7月にはJKA250が完成し、世界でも活躍することができる競輪選手の養成にも力を入れています。

施設概要

敷地面積／約50, 000坪（165, 000平方メートル）
養成施設／●講堂、体育館●自転車整備室
●屋内ローラー練習場●北400ピスト●JKA400
●333ピスト●JKA250●伊豆ベロドローム
●水平走路●1KmCC●3KmCC
●選手候補生宿舎●第1格納庫（女子）
●第2格納庫（男子）●能力測定室 等

JKA250
JAPAN KEIRIN AUTORACE FOUNDATION VELODROME



▲JKA250 外観


▲JKA250 内観

訓練施設紹介


▲選手候補生宿舎


▲JKA400


▲講堂

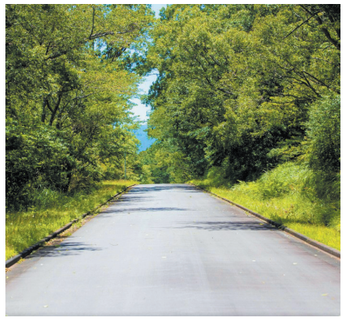

▲333mピスト


▲ローラー場

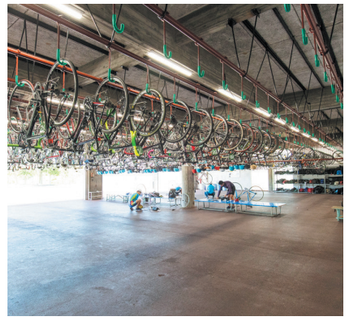

▲自転車整備室


▲視聴覚教室


▲体育館

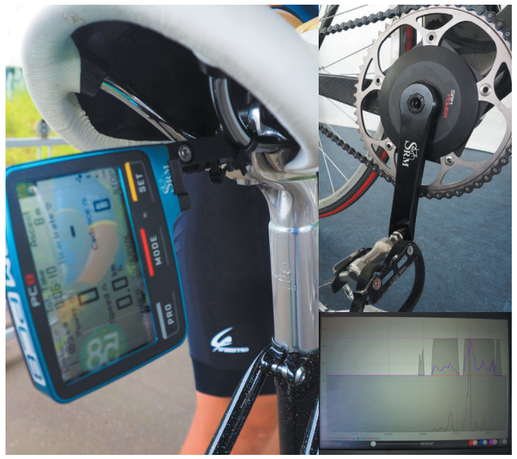

▲1kmcc


▲能力測定室


▲格納庫


▲教室

科学的トレーニングの推進



◎短距離ナショナルチームのトレーニング理論を適用した訓練の拡充
◎トレーニング中の走行データ等を解析できる訓練機材の導入
◎選手候補生が自主的にトレーニングできるよう『自主トレーニング用マニュアル』を作成
◎科学的サポートができるよう教官研修を実施

映像での確認



◎訓練時の走行フォームをタブレット端末などで確認可能
◎映像を確認しながら的確な指導が可能
◎競走訓練の映像もその日のうちに確認可能

学科講義の拡充



◎専門家によるメンタルトレーニングの授業に合わせ、選手候補生が自ら行うセルフマネジメントの強化
◎お客様相談室に寄せられる「お客様の生の声」を教材にした授業の導入
◎プロ選手として適切な情報発信ができるよう、インタビュー形式の授業の導入
◎リスクマネジメント能力を身に付けるため、SNS等の使用方法に関する授業の導入
◎海外選手とも必要なコミュニケーションが取れるよう、英会話授業の導入

栄養管理された食事の提供



◎管理栄養士により毎食、摂取カロリー・栄養価を計算した食事を提供
◎朝、昼、夜と生活、訓練内容に合わせた食事内容
◎デビューしてからの食事指導も実施

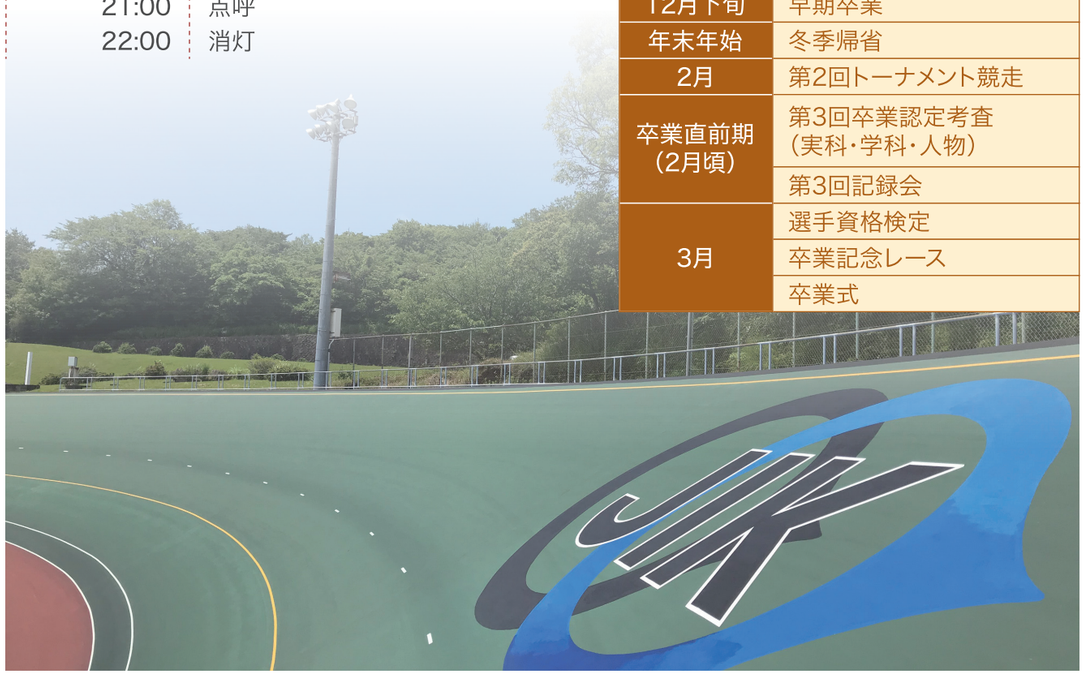
1日のスケジュール[例]

6:30	起床	
6:45	点呼	
6:50-7:10	錬成	
7:10-7:30	清掃	
7:30-8:05	朝食	
9:00	課業整列	
9:05-9:45	第1時限	主に学科実施
9:55-10:35	第2時限	
10:45-11:25	第3時限	
11:25-12:05	昼食	
12:05-12:45	訓練準備時間	
12:50	課業整列	
12:55-13:35	第4時限	主に実科訓練実施
13:45-14:25	第5時限	
14:35-15:15	第6時限	
15:25-16:05	第7時限	
16:15-16:55	第8時限	
17:00-19:00	入浴	
17:45-18:45	夕食	
19:15-19:45	自習	
19:45-20:55	自由時間	
21:00	点呼	
22:00	消灯	



年間のスケジュール[例]

4月	事前研修
5月	入所式
入所直後期（5月頃）	第1回卒業認定考査（実科）
	第1回記録会
6月	宝輪観音祭
8月	夏季帰省
中間期（9月頃）	第2回卒業認定考査（実科・学科・人物・身体）
	第2回記録会
10月頃	耐久訓練
11月中旬	第1回トーナメント競走
11月下旬	参加実習
12月下旬	早期卒業
年末年始	冬季帰省
2月	第2回トーナメント競走
卒業直前期（2月頃）	第3回卒業認定考査（実科・学科・人物）
	第3回記録会
3月	選手資格検定
	卒業記念レース
	卒業式



報奨金制度

年3回の各記録会の成績により帽色が振り分けられ、帽色に応じた報奨金が与えられます。

金帽：スピード、持久力が特に優れている者
白帽：スピード、持久力が優れている者
黒帽：スピードはあるが持久力に劣る者
赤帽：持久力はあるがスピードに劣る者
青帽：スピード、持久力が劣る者





① 帽色「金」（通称 ゴールデンキャップ）
獲得1回あたり20万円を支給する

② 帽色「白」
獲得1回あたり10万円を支給する

③（1）帽色「青」獲得1回
⇒ 支給額の総額が半額となる
第1回記録会　第2回記録会　第3回記録会
例）（白）（白）（青）
⇒ 20万円 × 1／2 ＝ 10万円 支給

（2）帽色「青」獲得2回
⇒ 支給額の総額が4分の1となる
第1回記録会　第2回記録会　第3回記録会
例）（白）（青）（青）
⇒ 10万円 × 1／4 ＝ 2万5千円 支給

年間全3回の記録会において

全て帽色「金」
⇒ 100万円をボーナス支給する
※20万円×3+100万円＝160万円支給

帽色「金」1回以上、それ以外は全て帽色「白」
※順不同
⇒ 30万円をボーナス支給する
※20万円×1+10万円×2+30万円＝70万円支給

全て帽色「白」
⇒ 10万円をボーナス支給する
※10万円×3+10万円＝40万円支給

早期卒業制度

入所直後期（5月）、あるいは中間期（9月）に実施する卒業認定記録会において最優秀の金帽（ゴールデンキャップ）を獲得し、かつ養成所が定める基準タイムをクリアした者が早期卒業候補者となります。

早期卒業候補者になると、別カリキュラムを履修することとなり、養成所が定める所定の基準をクリアすれば12月卒業（通常は翌年3月卒業）となります。

1月にプロデビューすることは、お客様やメディアから注目を浴びることとなり、さらにレースで活躍することで競輪界に大きく貢献できる可能性があります。

高い志を持ち、次世代の競輪界をリードしていくような人材を日本競輪選手養成所はお待ちしています。

2021年度では、男子候補生2名が早期卒業し、デビュー後すぐに活躍をしています。



ハイパフォーマンスディビジョン（HPD）

2016年10月、公益財団法人JKAは、トラック競技（短距離）の強化育成新体制として外国人コーチを招聘し、日本競輪選手養成所内（旧名称・日本競輪学校）にハイパフォーマンスディビジョン（HPD）を設置しました。

ハイパフォーマンスディビジョン（HPD）とは、世界で活躍できる選手を育てることを目的としたトレーニンググループです。

外国人コーチと医科学スタッフは、選抜された日本競輪選手養成所候補生に対して、ナショナルチーム選手と同様の環境（トレーニングメソッド、トレーニング理論及びトレーニング機器）でトレーニングを実施します。

ハイパフォーマンスディビジョンでは、将来、国際大会で活躍する選手の強化育成と選手発掘を行っています。



More CADENCE/Shutaro Mochizuki

Active in the world!
HPD出身の選手！

モデルケース（活躍例）



中野 慎詞〈なかの しんじ〉

生年月日／1999年6月8日　期別／121期（早期卒業）　運動歴／アルペンスキー、自転車競技

競技成績
・2021年5月 UCIトラックネーションズカップ（香港）：男子チームスプリント1位
・2023年3月 UCIトラックネーションズカップ（カイロ）：男子ケイリン1位

太田 海也〈おおた かいや〉



生年月日／1999年7月27日　期別／121期（早期卒業）　運動歴／ボート競技、サッカー

競技成績
・2023年2月 UCIトラックネーションズカップ（ジャカルタ）：男子スプリント2位
・2023年3月 UCIトラックネーションズカップ（カイロ）：男子スプリント3位
男子ケイリン3位
男子チームスプリント3位



太田 りゆ〈おおた りゆ〉

生年月日／1994年8月17日　期別／112期　運動歴／陸上競技

競技成績
・2019年1月 UCIトラックサイクリングワールドカップ（香港）：女子ケイリン2位
・2022年6月 アジア選手権（ニューデリー）：女子スプリント1位
女子チームスプリント2位

山田 駿斗



入所試験受験前のスポーツ歴

陸上競技、水泳。

競輪選手を目指そうと思ったきっかけ・理由

将来の夢について、ふと考えていたときに、父が競輪選手という仕事について話してくれたのがきっかけでした。競輪は、自分が努力した分しっかりそれが賞金になって返ってくるという点にとてもやりがいを感じ、また、小さい頃から体を動かすことが好きだった自分にはぴったりだと思い、競輪選手を目指しました。

養成所での生活について

自分の場合は適性入所で、さらに最年少だったので、入所するまでは自分の力が競輪の世界で通用するのか、正直とても不安でした。しかし熱意ある教官の方々の指導や親切で良きライバルとなってくれた仲間達、充実した練習環境のおかげで、心身ともに大きく成長することができました。123回生で本当に良かったです。



次回生に向けてのメッセージ

辛いこともあると思いますが、楽な方に逃げずに、1日1日の生活を全力で過ごすことで、この養成所での1年間は確実に自分を成長させてくれると思います。自分の夢や目標に向かって頑張ってください。

入所試験までの1日の練習スケジュール

6:30	起床・朝食
7:00	体幹トレーニング
8:30	高校（授業）
13:00	昼食
14:00	授業
16:00	練習（ジャンプ系ドリル、パワーマックスミドルトレーニング、ローラーもがき）
19:00	入浴・夕食
20:00	勉強（授業の予習・復習、SPI対策）
21:30	自由時間
22:30	ストレッチ
23:00	就寝

荒川 達郎



入所試験受験前のスポーツ歴

スキー、サッカー、水泳、バドミントン、高校から自転車競技。

競輪選手を目指そうと思ったきっかけ・理由

大学に進学し自転車競技を続けていくと、年々競技力が上がっていきました。そして大学3年生の冬、周りの友人らが就職活動を始める頃、もっと色々な人と競走をしてみたいと思うようになっていました。そこから自分が競輪の世界でどこまでいけるのか知りたくなり、選手を目指しました。

養成所での生活について

日々規則正しい生活やバランスの良い食事、充分な訓練時間があり、充実していました。養成所では通信機器の使用ができない分、同期と様々な話ができ、得るものが多くありました。訓練は動画やタイム、データをとってもらいフィードバックを受けることで、客観的にフォームや調子をみることができ、成長につながったと思います。

次回生に向けてのメッセージ

養成所は自転車のことだけを考えられる場所でした。辛いことや苦しいことも多くあると思いますが、乗り越えて成長を感じた時、頑張って良かったと思えます。養成所にいる時しかできないことを見つけて挑戦してみてください。



入所試験までの1日の練習スケジュール

8:00	起床・朝食
9:00	ウェイトトレーニング（平日は大学の授業）
12:00	シャワー・昼食
14:00	パワーマックス（アップ・トルク・回転力・瞬発力）
18:00	入浴
19:00	夕食
20:00	課題・自由時間
24:00	就寝

戸邉 香奈実



入所試験受験前のスポーツ歴

なし。

競輪選手を目指そうと思ったきっかけ・理由

新型コロナウイルスの大流行を機に、新しいことに挑戦してみようと思い立ったのが切っ掛けでした。特にスポーツ歴はありませんが、運動は得意で、競輪一族に生まれたのに、私で競輪選手を絶やしてしまうのは勿体無い！とある日閃き、”一度だけ”と決めて力試しに適性試験を受けてみることにしました。



養成所での生活について

毎日が筋肉痛との闘いです。それは同時に、毎日着実に成長を感じられる充実した期間でした。親身になって相談にのってアドバイスをくださる先生方、そして同じ夢に向かう同期達が居てくれたからこそ、乗り越えられた養成所生活でした。

次回生に向けてのメッセージ

自転車競技は疎か、スポーツに打ち込んだことのない私が、まさか競輪の世界に飛び込むなんて思ってもみませんでした。入所試験は誰にでも開かれています。一度きりの人生、面白い方がいい。やってみなければ、始まらない。競輪選手になりたい！という気持ちがあるのなら、迷わず受験してみては？可能性は自分次第。

入所試験までの1日の練習スケジュール

7:00	起床
7:10	朝食
8:00	バンク練習（周回、スタンディング、ダッシュF200、400）
13:00	帰宅
13:10	昼食、昼寝
14:30	ジムトレーニング（wattbike、ウェイト）
17:00	帰宅、入浴
18:00	夕食
23:00	就寝

松井 優佳



入所試験受験前のスポーツ歴

自転車競技。

競輪選手を目指そうと思ったきっかけ・理由

競輪選手になった友人と買い物に行った時に、沢山洋服を買っている姿を見て、私も競輪選手になって自分の欲しい物を沢山買いたいと思ったことがきっかけです。また、幼いころから自転車競技をしており、競輪は身近なものだったこともあって、話を聞いたりレースを見たりしているうちに競輪選手を目指そうと思いました。



養成所での生活について

楽しいことばかりではなかったですが、専門の知識を持った教官の先生の方に様々な事を指導して頂いて充実した時間を過ごすことができました。同期の仲間と切磋琢磨し、自転車づけの毎日を送ることは養成所でしか味わえないなと思います。自転車のことだけでなく人として精神的・身体的に成長したと感じられる10ヶ月でした。

次回生に向けてのメッセージ

養成所での生活は長いと思うかもしれないですが、あっという間に時間が過ぎるので1つ1つの練習を大切に頑張って下さい。こんなにも自転車と向き合える環境は他にないので同期の仲間と色んな事に挑戦してみて下さい。卒業するときには、ひとまわりもふたまわりも成長できたと感じられると思います。

入所試験までの1日の練習スケジュール

7:00	起床・朝食
9:00	練習（周回、ハロン、スタートの練習など）
11:00	電動ローラー（回転練習）
12:00	昼食
13:00	昼寝
15:00	ジムトレーニング
19:00	夕食
20:00	入浴
22:00	自由時間（ストレッチ、テレビをみるなど）
24:00	就寝

応募資格

◎ 満17歳以上（入所する年度の4月1日時点）であること。 ◎ 日本国内に居住する者であること。
◎「募集要項3.応募資格（3）」の事項に該当しない者であること。

一般試験	技能試験	自転車競技経験者はこちらで受験 1次試験：200m・1000m（女子は500m）の測定 2次試験：身体検査・人物考査（口頭試問、適性検査、受験態度等）を実施
	適性試験	自転車競技未経験者はこちらで受験 1次試験：跳躍高・背筋力・柔軟性を測定。 2次試験：固定式自転車による走行能力測定（最大パワー・最大回転数・平均パワー） 身体検査・人物考査（口頭試問、適性検査、受験態度等）を実施

〈合格倍率〉

	試験区分	1次試験倍率	2次試験倍率
男子（125回生）	技能試験	4.05	1.23
	適性試験	3.80	3.00
男子（123回生）	技能試験	4.08	1.23
	適性試験	3.86	3.00
男子（121回生）	技能試験	3.92	1.20
	適性試験	3.72	3.60

〈合格倍率〉

	試験区分	1次試験倍率	2次試験倍率
女子（126回生）	技能試験	1.54	1.60
	適性試験	1.14	1.40
女子（124回生）	技能試験	1.74	1.19
	適性試験	1.56	2.25
女子（122回生）	技能試験	1.76	1.31
	適性試験	2.00	1.60

特別選抜試験

スポーツ競技において世界レベルの実績がある人が対象

①オリンピック大会に出場し、本財団が特に認めた成績を収めた者。
②世界選手権競技大会に出場し、1位から8位の成績を収めた者。自転車競技以外の競技については、本財団が認めた大会であること。
③ワールドカップ大会あるいはそれに類する大会に出場して、1位から3位の成績を収めた者。自転車競技以外の競技については、本財団が認めた大会であること。
上記の3つのうち1つに該当する者。

回生	氏名	登録府県	選抜理由	最高級班
88回	タケダ トヨキ 武田 豊樹	茨城	2002年ソルトレークシティ五輪 スピードスケート500m 8位入賞	SS
88回	オオモリ ケイイチ 大森 慶一	北海道	世界自転車競技センターにおける訓練受講	S1
88回	ナガイ キヨフミ 永井 清史	岐阜	世界自転車競技センターにおける訓練受講	SS
90回	キタツル ツバサ 北津留 翼	福岡	世界自転車競技センターにおける訓練受講	S1
91回	シバサキ アツシ 柴崎 淳	三重	世界自転車競技センターにおける訓練受講	S1
92回	ウシヤマ タカヒロ 牛山 貴広	茨城	2005世界オールラウンド スピードスケート選手権大会 男子500m優勝	S1
117回	ハラ ダイチ 原 大智	宮城	2018年平昌五輪 フリースタイル競技 モーグル種目 3位	A2
119回	クボキ カズシゲ 窪木 一茂	福島	2016年リオ五輪 オムニアム 14位	S2
121回	チカタニ リョウ 近谷 涼	富山	2017年12月UCIトラックワールドカップ第4戦 チームパシュート 2位	A3
121回	イチマル ショウゴ 一丸 尚伍	大分	2017年12月UCIトラックワールドカップ第4戦 チームパシュート 2位	A2

2023年5月現在

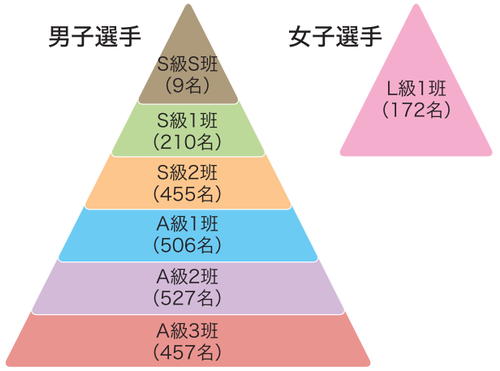
競輪選手のカテゴリー

競輪選手と一言で言っても男女でそれぞれ異なるカテゴリーとなっています。

男子はS級S班を頂点にA級3班までの6つのカテゴリーに分かれています。新人選手は、まずA級3班から選手生活を始め、一番上のカテゴリーであるS級S班を目指します。

女子はL級1班のみのカテゴリーで、競走を行います。

男女を合計すると2000名以上の競輪選手が登録されており、プロスポーツの中でもかなり多くのプロ選手が活躍しています。



合計**2336**名 ※2023年3月1日時点





競輪選手の賞金

獲得賞金最高額（2022年）

男性	3億584万円

女性	3,095万円

競輪選手級班別平均獲得賞金（2022年）

男性	獲得賞金（平均）
SS	約13,972万円
S1	約2,592万円
S2	約1,517万円
A1	約1,149万円
A2	約960万円
A3	約824万円

女性	獲得賞金（平均）
L1	約842万円

デビュー後8か月（2022年5月～12月）の新人選手獲得賞金TOP3

男性	収入
1位	922万円
2位	898万円
3位	859万円

女性	収入
1位	594万円
2位	591万円
3位	586万円

日本人民間平均給与（参考）

男性	収入（平均）
20~24	287万円
25~29	404万円
30~34	472万円
35~39	533万円
40~44	584万円
45~49	630万円

女性	収入（平均）
20~24	249万円
25~29	328万円
30~34	322万円
35~39	321万円
40~44	324万円
45~49	328万円

※『令和3年分　民間給与実態統計調査』「年齢階層別の平均給与」

競輪選手のひと月のスケジュール（例）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
トレーニング								トレーニング調整	調整	競輪開催 前日検査	競輪開催 初日	競輪開催 2日目	競輪開催 最終日	オフ

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
トレーニング						トレーニング調整	調整	競輪開催 前日検査	競輪開催 初日	競輪開催 2日目	競輪開催 最終日	オフ	トレーニング	

競輪選手は、ひと月に2回もしくは3回競輪開催に参加します。
1回の開催に係る日数は自転車の検査などの出場資格の確認を行う前日検査を含めて原則4日間となっています。
この開催の期間中は、携帯電話等の情報通信機器は使用禁止となり、不正防止のため、外部との連絡を取れないようになります。
年間で数えると約25前後の開催に選手は参加することになります。

他競技からの入所者スポーツ歴一覧（直近4回生）

男子	117回生	119回生	121回生	123回生	合計
野球	12	19	18	19	68名
陸上競技	5	12	15	11	43名
サッカー	1	5	8	10	24名
バスケットボール	3	1	5	1	10名
バレーボール	1	3		3	7名
空手	1	5		1	7名
水泳		1	4	2	7名
柔道		2	2	2	6名
ソフトテニス		1	1	3	5名
剣道		1	2	1	4名
バドミントン		1	1	1	3名
スキー			2		2名
ハンドボール		1	1		2名
ラグビー				2	2名
スピードスケート	1				1名
ボート			1		1名
BMX		1			1名
アイスホッケー			1		1名
弓道	1				1名

女子	118回生	120回生	122回生	124回生	合計
陸上競技	3	3	8	4	18名
バスケットボール	3	3	4	4	14名
ソフトボール		4	1	2	7名
サッカー		1	2	1	4名
バレーボール	1		1	2	4名
スピードスケート		2		1	3名
バドミントン	2				2名
空手	1			1	2名
BMX	2				2名
トライアスロン				2	2名
柔道	1				1名
スキー		1			1名
ハンドボール				1	1名
ソフトテニス	1				1名
ビーチバレー	1				1名
剣道	1				1名
水泳		1			1名
スカッシュ		1			1名
テコンドー		1			1名

※複数のスポーツ経験者については、人数を重複して計上しています。

モデルケース（適性試験合格者の例）

野口 裕史
〈のぐち ひろし〉



①生年月日：1983年5月3日
②運動歴：陸上競技
（ハンマー投げ・適性入所）
③期別：111期
④2022年獲得賞金：3,103万円

児玉 碧衣
〈こだま あおい〉



①生年月日：1995年5月8日
②運動歴：バレーボール（適性入所）
③期別：108期
④2022年獲得賞金：2,167万円

野本 怜菜
〈のもと れな〉



①生年月日：1998年5月27日
②運動歴：陸上競技（適性入所）
③期別：114期
④2022年獲得賞金：982万円

Question & Answer

入所試験関係

Q1：年に何回入所試験を実施しますか？
A：技能試験、適性試験は、1年に1回のみです。
特別選抜試験は、随時募集を受け付けております。

Q2：募集人数は何人ですか？
A：例年男子70名程度、女子20名程度です。

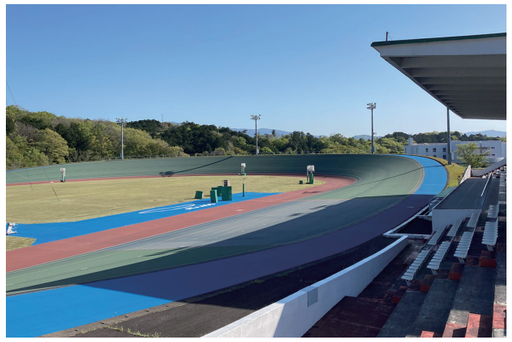
Q3：年齢の制限はありますか？
A：入所する年度の4月1日時点で、満17歳以上であれば受験可能です。年齢制限の上限はありません。中には35歳で入所した人もいます。

Q4：自転車競技経験は必要ですか？
A：そのようなことはありません。自転車競技未経験者は適性試験での受験が可能です。

Q5：適性試験はどのような内容ですか？
A：1次試験では垂直跳び、背筋力計を使った測定、長座体前屈を行います。また2次試験では固定式自転車を使用し、男子は6秒間測定及び45秒間測定、女子は6秒間測定及び30秒間測定を行います。
1次試験の内容は動画で解説しておりますので、こちらのQRコードよりご覧ください。

Q6：いつから募集を始めますか？
A：例年6月に募集の公示を行い、一般試験は6月から8月下旬まで募集を行います。特別選抜試験は6月から翌年の3月まで募集を行います。詳しくは、WEBサイトをご覧ください。





Q7：受験の回数に制限はありますか？
A：2019年度の受験から5回の制限があります。また、初回の受験から8年が経過した場合（2018年度以前は初回受験に数えない）も受験することができません。

養成所生活について

Q8：日本競輪選手養成所では、どのようなことを学ぶのですか？
A：自転車での走行技術はもちろん競輪に関する法律・ルールといった学科が、7科目あります。その他外来講師を招いた講義も多々あります。

Q9：養成所での費用はいくらかかりますか？
A：食費、施設利用料、養成所で着用する衣服の料金など合わせて約135万円かかります。しかし、在所中にかかる費用を無金利で貸し付ける「貸費制度」があり、費用を選手になってから支払うこともできますので、ご安心ください。

Q10：在所中は、外出はできますか？
A：当初養成終了後、日曜日に限り男子と女子を隔週に分けて外出を認めています。時間は8：30～17：30と決まっています。

Q11：髪型は男子は丸刈り・女子はベリーショートでないとダメですか？
A：そんなことはありません。男子は髪が耳に掛からない程度で、染髪をせず、清潔感がある髪型、女子は髪ゴム等で纏められ、染髪せず、清潔感がある髪型の範囲内であれば制限はありません。

Q12：携帯電話は使用できますか？
A：構内での使用は禁止しています。ただし、日曜外出時・帰省時に養成所の正門を出て、構外であれば、使用を認めています。

Q13：養成所を卒業するための条件はありますか？
A：3回実施する卒業認定試験に合格することや養成所で定められた規則を守り、必要履修数出席することなどが求められます。